

平成26年度入学生 普通科 教育課程（改編案・・・申請中）

※ 改編の主な視点

大正・十和地域に根差した普通科高校としての存在意義を明確にするため、自然環境教育を教育課程に効果的に位置づけるとともに、在校生の進路希望と、入学を検討している生徒や地域の潜在的ニーズを踏まえ、教育課程の整理・構築を行う。

① 「普通科」における理系進学ツールとして自然環境教育を活用するため、一定の条件を満たす場合、自然環境コースの「水循環」等の科目を履修できるようにする。

② 文系～理系の全ジャンル対応型から、重点を文系～文理系（理学部・農学部・看護学科等）大学や公務員・看護・介護関係への就職に重点を絞り、一人ひとりの進路を見すえた指導の徹底を図る。

コース	普通科(現行 25年度入学生)					普通科(26年度入学生 改編案)						
学年	1年		2年		3年		1年(H26年度)		2年(H27年度)		3年(H28年度)	
専攻		文理	情報	文理	情報		文理	情報	文理	情報	文理	情報
1	国語総合(4)	現代文B(2)		現代文B(2)		国語総合(4)	現代文B(2)		現代文B(2→3)			
2		古典A(2)		国語表現(3)			古典A(2)					
3												
4									日本史B(4) 地理B(4)		世界史A(3)	
5	日本史B(+2) 地理B(+2)											
6			数学Ⅰ(3) ＜習熟度別＞		数学Ⅰ(3) ＜習熟度別＞		国語表現(2) 数学B(2) 水循環(2)		数学Ⅱ(2)		世界史A(3→2)	
7												
8	化学(2) 数学Ⅱ(2)											
9												
10	数学A(2)	数学Ⅱ(4) 簿記(4)		体育(3)		化学基礎(2)	数学Ⅱ(4) 簿記(4)		数学演習Ⅰ(2)		数学Ⅱ(2)	
11												
12	化学基礎(2)	生物基礎(2)		コミュニケーション 英語Ⅱ(2)		体育(3)	体育(2)		保健(1)		家庭総合(2)	
13												
14	物理基礎(2)	英語表現Ⅱ(5) または 政治・経済(3) 時事英語(2) または 数学Ⅲ(5)		コミュニケーション 英語Ⅱ(2)		保健(1)	コミュニケーション 英語Ⅱ(4) ＜習熟度別＞		コミュニケーション 英語Ⅲ(4)		簿記(4)	
15												
16	体育(3)	英語表現Ⅰ(2) ＜習熟度別＞		家庭総合(2)		コミュニケーション 英語Ⅰ(3→4) ＜習熟度別＞	家庭総合(2)		生物(+3)		情報処理(3)	
17												
18	保健(1)	家庭総合(2)		数学活用(2) 数学Ⅱ(2)		社会と情報(2)	生物(2+) 情報処理(2)		化学(+3) 英語表現Ⅱ(3)		英語表現Ⅰ(3)	
19												
20	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ(2)	英語表現Ⅱ(2) ＜習熟度別＞		化学(3) 情報処理(3)		四万十概論Ⅰ・Ⅱ(2)	四万十総学(1)		化学(+3) 英語表現Ⅱ(3)		英語表現Ⅰ(3)	
21												
22	コミュニケーション 英語Ⅰ(3) ＜習熟度別＞	英語会話(1)		四万十総学(1)		四万十総学(1)		四万十総学(1)		四万十総学(1)		
23												
24	英語会話(1)	家庭総合(2)		数学活用(2) 数学Ⅱ(2)		社会と情報(2)	生物(2+) 情報処理(2)		化学(+3) 英語表現Ⅱ(3)		英語表現Ⅰ(3)	
25												
26	社会と情報(2)	英語表現Ⅱ(2) ＜習熟度別＞		化学(3) 情報処理(3)		四万十概論Ⅰ・Ⅱ(2)	四万十総学(1)		化学(+3) 英語表現Ⅱ(3)		英語表現Ⅰ(3)	
27												
28	四万十概論Ⅰ・Ⅱ(2)	英語表現Ⅱ(2) ＜習熟度別＞		化学(3) 情報処理(3)		四万十概論Ⅰ・Ⅱ(2)	四万十総学(1)		化学(+3) 英語表現Ⅱ(3)		英語表現Ⅰ(3)	
29												
30	ホームルーム活動(1)	ホームルーム活動(1)		ホームルーム活動(1)		ホームルーム活動(1)	ホームルーム活動(1)		ホームルーム活動(1)			

「水循環」と「農業と環境」は、自然環境コースの中核科目であり、高知大学農学部等への推薦入学希望者が活用することを想定しています。

※1 「水循環」を履修する場合は、高大連携事業「土佐の海の環境学」を受講すること（また、自然環境部の活動に参加していること）

※2 「農業と環境」を履修する者は、2年次に「水循環」を履修していることを原則とする。

平成26年度入学生 自然環境コース 教育課程（改編案・・・申請中）

※ 改編の主な視点

大正・十和地域に根差した普通科高校としての存在意義を明確にするため、自然環境教育を教育課程に効果的に位置づけるとともに、在校生の進路希望と、入学を検討している生徒や地域の潜在的ニーズを踏まえ、教育課程の整理・構築を行う。

① 自然環境コースの2・3年次の教育課程については、2つの専攻（「自然体験専攻」、「環境科学専攻」）に分けることが、かつて生徒の選択の幅を狭める恐れがあるため、学校設定の自然環境科目だけでなく農業の自然環境系の科目を含めたコア科目を定め、多様性は選択科目で対応する。

② 自然環境コースは、自然環境に関する幅広い学習や体験を通して、自然環境系や農業系への進学に必要な基本的な学力と、農業・林業系の仕事に就くための知識・スキルが育成できるよう、選択科目の履修形態を工夫する。

コース	普通科自然環境コース(H25入学生) ※ 灰色の科目は、現1年生の教科登録の結果、閉講となった講座					普通科自然環境コース(26年度入学生 改編 案)			
学年	1年(H25年度)	2年(H26年度)		3年(H27年度)		1年(H26年度)	2年(H27年度)	3年(H28年度)	
専攻		自然体験	環境科学	自然体験	環境科学				
1	国語総合(4)	現代文B(2)		現代文B(2)		国語総合(4)	現代文B(2)	現代文B(2→3)	
2									
3							古典A(3)	国語表現(3→2)	
4		古典A(3)		国語表現(3)					
5	現代社会(2)					現代社会(2)	日本史B(4) 地理B(4)	世界史A(3→2)	
6									
7	数学Ⅰ(3) ＜習熟度別＞	世界史A(3)		日本史B(4) 地理B(4)		数学Ⅰ(3) ＜習熟度別＞	※自然環境コースの生徒として学習してもらいたい科目に固定した。	政治・経済(2) 数学活用(2) 数学演習Ⅰ(2)	
8									
9		数学A(2)							
10	生物基礎(2)			△政治・経済(2) ▲生物(2)		生物基礎(2)	数学A(2)	生活環境(2) 野菜(2)	
11		※1 △科学と人間生活(2) ▲生物(2)							
12	体育(3)			△環境論文(2) ▲科学と人間生活(2)		体育(3)	化学基礎(2)	農業と環境(2)	
13		体育(2)					地学基礎(2)		
14								体育(3)	
15	保健(1)	保健(1)		体育(3)		保健(1)	体育(3)		
16	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ (2)	コミュニケーション 英語Ⅱ(2) ＜習熟度別＞				音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ(2)	体育(2)	コミュニケーション 英語Ⅱ(2→3)	
17				コミュニケーション 英語Ⅱ(2)					コミュニケーション 英語Ⅰ(3→4) ＜習熟度別＞
18	コミュニケーション 英語Ⅰ(3) ＜習熟度別＞	英語会話(1)		家庭総合(2)		保健(1)	家庭総合(2)		
19		家庭総合(2)				コミュニケーション 英語Ⅱ(2)			
20						社会と情報(2)	生態学概論(2)	総合実習(2)	
21	英語会話(1)	情報処理(2)		森林科学(2)	時事英語(2)				家庭総合(2)
22	社会と情報(2)			※2 情報処理(1) ★化学(2)※3 農業と生活(2) または 数学活用(3)		環境学概論(2)	生物(2) 森林科学(4→2)	生物(2→3) 森林科学(2→3)	
23		環境学概論(2)	森林科学(4)	環境 演習(2)					森と川と海(2)
24	環境学概論(2)		生活環境(2)			森と川と海(2)			
25	森と川と海(2)	農業と環境 (2)	生態学概論 (2) 化学基礎(2)	総合実習(2)	消費生活(2) ★化学(2)		森と川と海(2)		
26			四万十概論Ⅰ・Ⅱ(2)					四万十概論Ⅰ・Ⅱ(2)	
27	四万十総学(1)					四万十総学(1)			
28		ホームルーム活動(1)	ホームルーム活動(1)		ホームルーム活動(1)		ホームルーム活動(1)	ホームルーム活動(1)	
29									
30	ホームルーム活動(1)	ホームルーム活動(1)		ホームルーム活動(1)		ホームルーム活動(1)	ホームルーム活動(1)	ホームルーム活動(1)	

・赤色の太文字の科目は、新しく設けた科目

・「数学演習Ⅰ」は、大学進学の受験科目として必要な生徒のための選択科目（普通科文理専攻と合同授業）